

構造物と都市の地震シミュレーション



東京大学 地震研究所

堀 宗朗

アブストラクト

地震災害の軽減の第一歩は被害予測である。大規模数値計算を利用したシミュレーションは、合理的な被害予測の手法として期待されている。重要構造物のシミュレーションでは、1,000万超の自由度を持つモデルで揺れや損傷・崩壊過程を解析する。都市の地震シミュレーションでは、建物群から構成される都市モデルを構築し、都市全体が揺れる過程を解析する。本講演では、この地震シミュレーションの現状と展望を概説する。

講演者プロフィール

◆ 略歴

1984年 3月	東京大学工学部土木工学科卒業
1985年 8月	ノースウェスタン大学大学院修士課程修了
1987年 8月	カリフォルニア大学サンディエゴ校博士課程修了, Ph.D.
1987年 9月	カリフォルニア大学サンディエゴ校ポスドクトラルフェロー
1990年 1月	東北大学工学部土木工学科専任講師
1991年 4月	東京大学工学部土木工学科助教授
1995年 9月	東京大学地震研究所助教授
2001年 11	同教授

◆ 研究分野、研究テーマ

計算地震工学, 応用力学